

### 短冊に願いを込めて 武家屋敷で「七夕かざり」

8月4日から8日までの5日間、武家屋敷「旧小関家」で「七夕かざり」が行われました。この催しは、子どもたちに伝統文化である七夕の飾り付けを体験してもらおうと毎年開催。この日は市内の小学生約50人が訪れ、思い思いの願い事を込めた短冊を笹の葉に飾り付けていました。飾りは短冊のほか、白石和紙でつくられた紙衣やきん着、折り鶴や花をあしらった吹き流しなども飾り付けられ、武家屋敷を鮮やかに彩っていました。参加した児童は「飾り付けが楽しかったです。書いた願い事がかなえばいいなって思います」と話してくれました。



▲楽しそうに飾り付けする児童たち

### 小原で夏のイベントを満喫！ 第14回夏の検断屋敷まつり

8月6日、小原地区の材木岩公園で「第14回夏の検断屋敷まつり」が開催されました。晴天に恵まれたこの日は、市内外から約800人が来場。会場では、検断屋敷まつり恒例のだるま落としやウッドボウリング、桃の種飛ばしなど、来場者参加型の多数のイベントを開催。大人から子どもまで参加し楽しんでいました。

この日一番盛り上がった水中スイカ割りには多くの子どもが参加。目隠しをしてみず1回転、観客からの声を頼りに「えい！」と一振り！割れたスイカは観客にも振る舞われ、水辺で涼しい夏を堪能していました。



▲「もっと右！」「そこそこ！」スイカは…ここだ！

### 100歳おめでとうございます 佐々木みのるさんに松竹梅敬老祝金

8月10日、翌日に100歳を迎える佐々木みのるさんを山田市長が訪ね、松竹梅敬老祝金と祝詞を贈り長寿を祝いました。みのるさんは白川のお生まれ。若いころは、白川特産の竹細工作り、福岡に嫁がれてからは養蚕業に従事し、子ども8人を育てました。現在は孫が15人、ひ孫も大勢います。普段はベッドで過ごすことが多いですが、自分の誕生日もちゃんと分かるそうで、この日も「わざわざ来てくれてありがとう」とうれしそうに話していました。長生きの秘訣は、自分の好きなことをして過ごすことと家族が話してくれました。



▲山田市長からの祝福に感激の表情のみのるさん

### 生・ゆで・焼き どれでも甘～い！ 小十郎の郷でピュアホワイトまつり

8月5日、小十郎の郷で「ピュアホワイトまつり」が開催されました。ピュアホワイトは、白石の新ブランド「白石三白野菜」の一つとして、昨年デビューし好評となった白いトウモロコシ。地方創生推進交付金を活用し、今年は作付面積を昨年の3倍に拡大。糖度が16度とメロン並の甘さが人気を呼び、午前9時の開店前から100人近いお客さんが列を作っていました。中には東京から来たというお客さんや、家族で10本以上買い求める人の姿も見られました。この日は、仙南よさこい交流会の演舞や緑日コーナーもあり会場は大いに賑わいました。



▲開店と同時に飛ぶように売れるピュアホワイト

### いろんな生き物つかまえた！ 白川小奥地区で「小川と仲良くなるろう」

8月3日、白川小奥地区を流れる土手川で「小川と仲良くなるろう」が行われました。この催しは、小川を題材に子どもたちに自然環境の大切さを体感してもらおうと地区住民が主催し、今年で11回目。地区の小学生9人が参加し、水質を検査する「パケットテスト」を体験したり、土手川の水質や水温、流れの速さなどを調べたり、川にすむ生き物を採取・観察したりと、普段なかなか体験できない自然との触れ合いを楽しんでいました。参加した児童は「草や砂の中に生き物がたくさん隠れていて、探すのが面白かったです」と楽しそうに話してくれました。



1\_手作りのいかだで川の流れを体験  
2\_大きいザリガニつかまえた！僕の方が大きいよ！

### 姉妹都市の友情を深めて 白川小学校で「姉妹都市交流会」

7月26日、姉妹都市の「登別市」と「海老名市」の児童が白川小学校を訪れ、お互いの市と学校について発表する姉妹都市交流会を行いました。発表で登別市と海老名市の児童は、地元の観光地やグルメのほか、自分たちが通う学校の特色について発表しました。白川小学校の児童は、白石うーめんの研究発表や「ジャンボかるたとり」の実演などを行いました。登別市の児童は「姉妹都市について知らなかったことばかりで勉強になりました」、白川小学校の児童は「登別市と海老名市の魅力が分かってよかったです」とそれぞれ話してくれました。



▲研究発表を行う白川小の児童。調べてまとめるのは大変でした

### 白石の美味しい野菜を堪能しました！ 田んぼワクワク講座～食育教室～

7月23日、市内で農作業などを体験する「田んぼワクワク講座」が行われ、この日は夏野菜の収穫体験と調理実習に市内外から6組19人が参加しました。

収穫体験では、市内の生産者が手掛ける畑でミニトマト、ナス、キュウリ、白いトウモロコシ「ピュアホワイト」を収穫。トウモロコシの収穫は初めてという参加者もあり、また採れたてのピュアホワイトを生で試食してみたりと、大人も子どもも収穫体験を楽しんでいました。

調理実習は中央公民館で行われ、採れたての夏野菜と白石産の食材をふんだんに使った「白石産ササニシキのごはん」「鶏肉のカレー塩こうじ焼き」「ラタトゥイユ」「キュウリの塩こんぶ漬け」「グレープフルーツ寒天」に挑戦。親子で手際よく調理に取り組み、慣れた子どもは野菜を切ったりいためたり、不慣れな子どもや小さな子どもは野菜を洗ったり調味料を混ぜたりと、それぞれできることをお手伝いしていました。調理後は「いただきます！」とみんなで和やかに食卓を囲みました。

参加した子どもは「野菜をたくさん採れて楽しかったです。料理は大変でしたが、思ったよりおいしく作れて良かったです」と話してくれました。

この講座は9月に稲刈りと棒掛け、10月に脱穀、そして11月には収穫祭を行います。



1\_白いトウモロコシ「ピュアホワイト」を収穫する子どもたち  
2・3\_調理実習の様子。野菜を切ったりいためたり、子どもたちも一生懸命取り組みました